

2016年8月2日

## 日本のまんなか意識調査 『ワーク・ライフ・バランスに関する意識調査』 愛知県は男女で意識格差あり

女性

WLB

労働環境

近年、就職活動をする学生も重視する項目として上げることが増えてきた WLB(ワーク・ライフ・バランス)。女性の活躍と絡めて考えられることの多いワードですが、元々は「仕事と生活の調和」を指す言葉です。今回、この「ワーク・ライフ・バランス」がどの程度浸透しているか、意識調査をモバイルサイトフリモ®の会員に向け 2016年6月22日~24日に実施致しました。

### 調査結果ハイライト

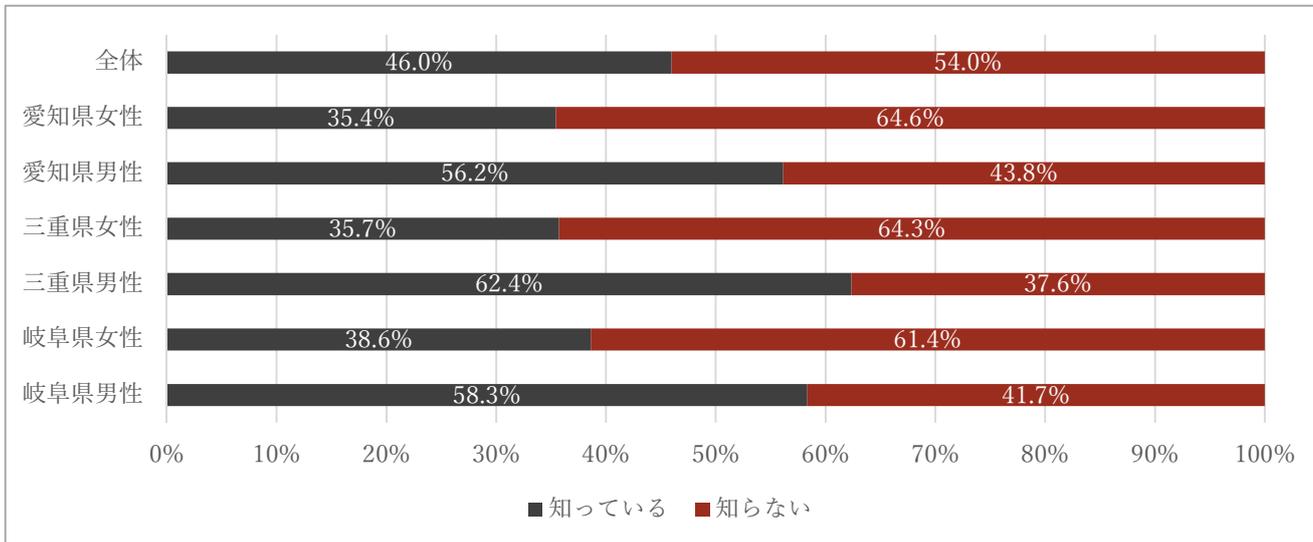
- ワーク・ライフ・バランスの認知度：46.0% ワーク・ライフ・バランスを実現している：23.2%  
県別・性別で見ると、愛知県男性は「ワーク・ライフ・バランス」が実現できていると回答した比率が調査回答エリア内で一番高く 31.5%であるのに対し、同県の女性は 15.7%と一番低く、男女で大きく差がある。
- ワーク・ライフ・バランスを実現するために努力していることは、  
男性は「仕事の段取りを工夫している」が多く、女性は「自分の趣味の時間をとっている」が多い結果となった。
- ワーク・ライフ・バランスが実現できていないと答える理由は、一番が「金銭的余裕がない」。  
男性は「残業が多い」ことも要因の一つ。  
子どもがいる方は「自分の時間がとれない」という回答が目立った。  
岐阜の方は「金銭的余裕がない」と「自分の時間がとれない」ことが同じ比率。
- ワーク・ライフ・バランスを実現するために必要なこととして、  
未婚の方は「自身の職場の労働環境改善」、「職場の上司や役員の理解」が必要との回答が多く、既婚・18歳未満の子どもがいる方は「配偶者・子どもの理解」が必要との回答が目立った。県別・性別で見ると、愛知県男性は「自身の職場の労働環境の改善」の比率が一番高くなっており、愛知県女性も「家族・パートナーが勤務する職場の労働環境改善」を一番に挙げている。女性は各県ともに「配偶者・子どもの理解が必要」の回答比率が高い。岐阜県の女性は、「行政による福祉政策の充実」や「ワーク・ライフ・バランスの考え方についてのPR」を求める声が多かった。

次頁より詳細とグラフをまとめておりますので、参照ください。

【本件に関するお問い合わせ】

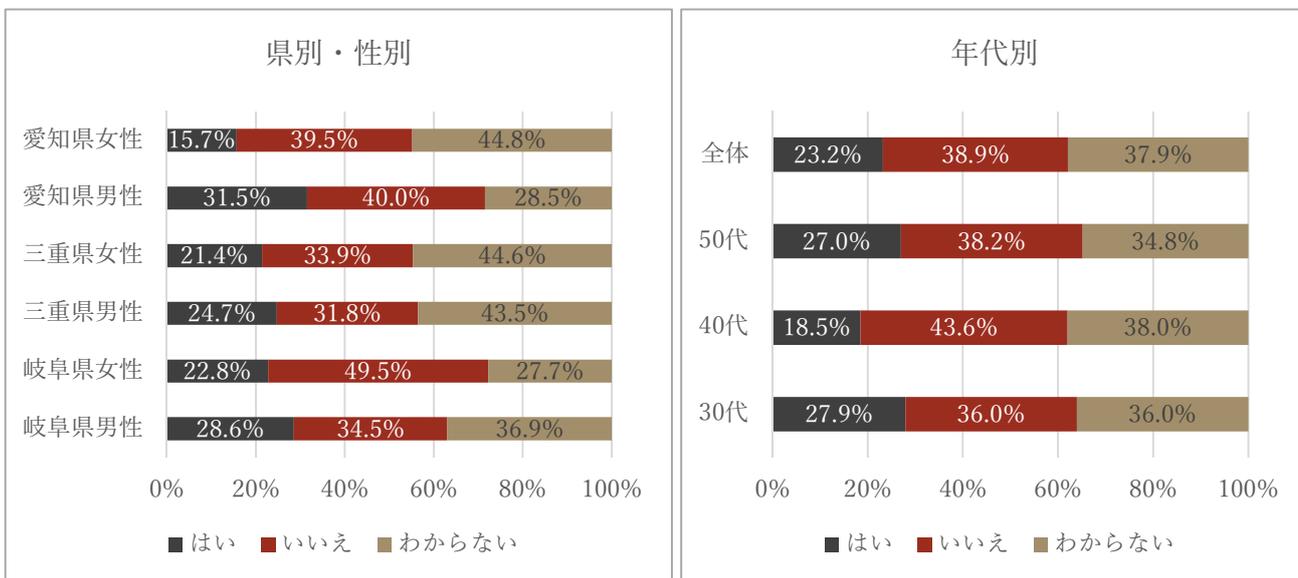
株式会社 中広 メディア戦略室 広報課(岡本)  
TEL.080-6978-2574 Mail : koho@chuco.co.jp

## 1 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)をご存知ですか？



「ワーク・ライフ・バランス」の認知度は46.0%と半数以下でした。男性のほうが比較的認知度が高い結果となりました。

## 2. あなたはワーク・ライフ・バランスを実現していると思いますか？



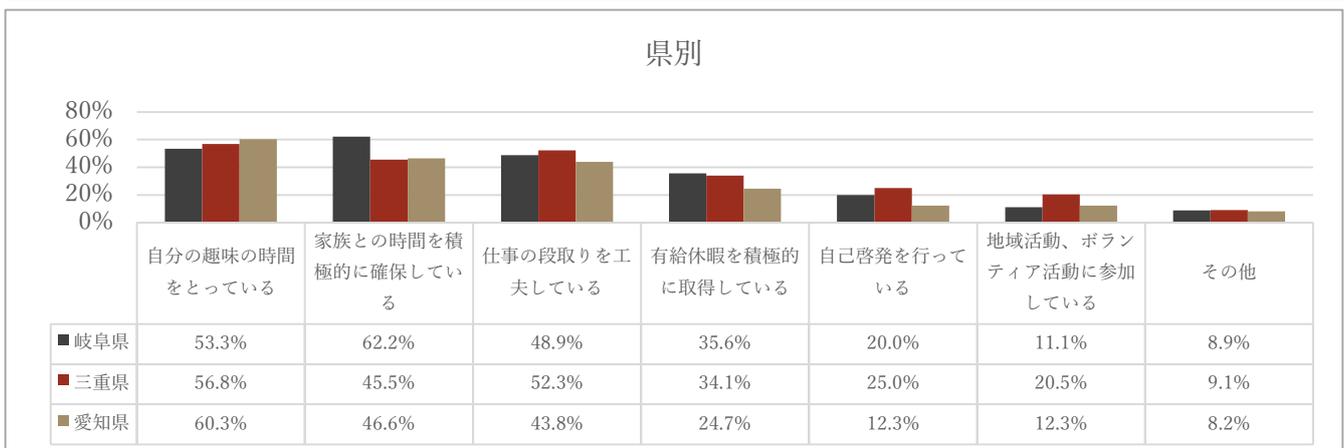
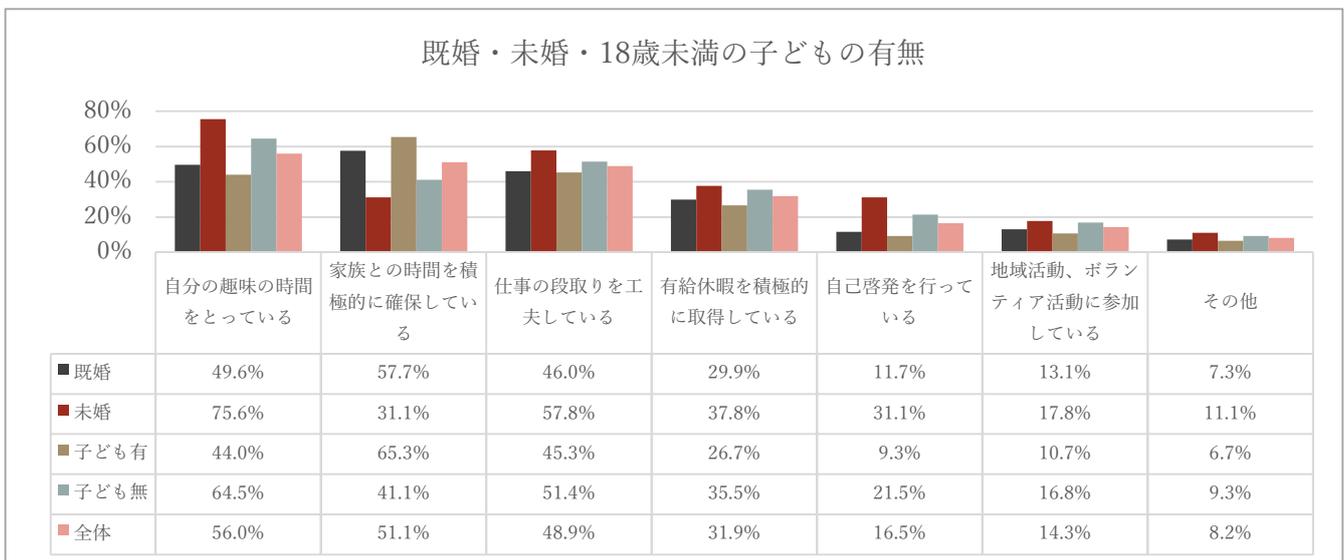
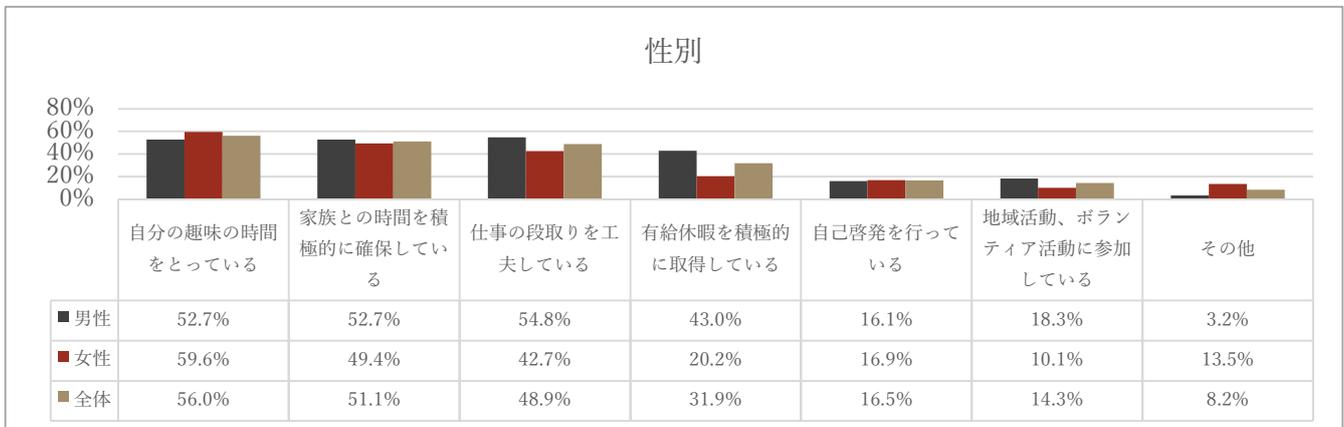
「ワーク・ライフ・バランス」を実現しているかを尋ねたところ、「はい」が23.2%に対し、「いいえ」が38.9%、「わからない」が37.9%と比率が高く、特に40代は「いいえ」の比率が高い結果となりました。まだまだ理想的なバランスで仕事と生活を両立している人は少ないようです。

県別・性別で見ると、愛知県男性は「ワーク・ライフ・バランス」が実現できていると回答した比率が3県で一番高く31.5%であるのに対し、女性は15.7%と3県で一番低く、男女で大きく差があるようです。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 中広 メディア戦略室 広報課(岡本)  
 TEL.080-6978-2574 Mail: koho@chuco.co.jp

## 3. 「はい」と答えた方は、ワーク・ライフ・バランスの実現のためにご自身で努力していることはありますか？



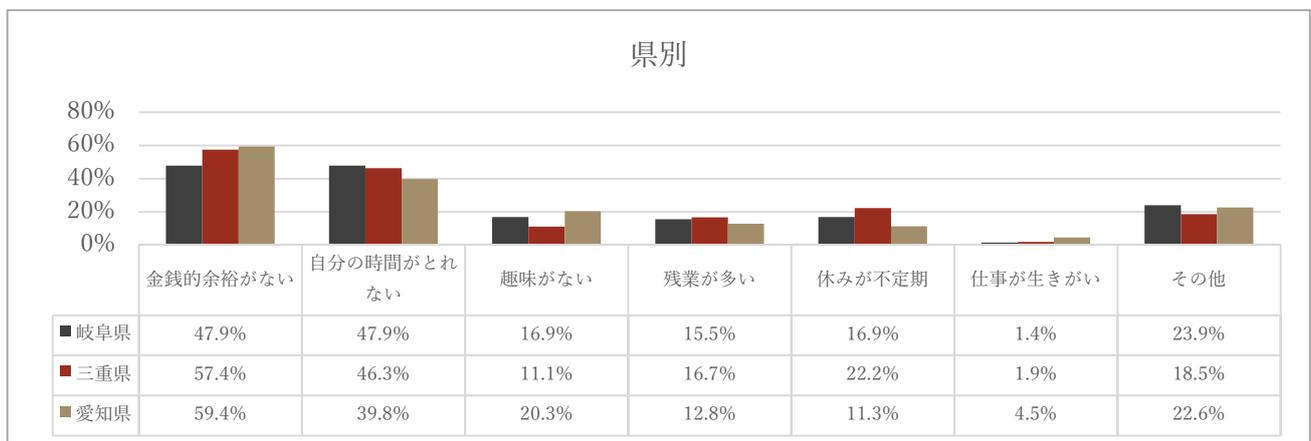
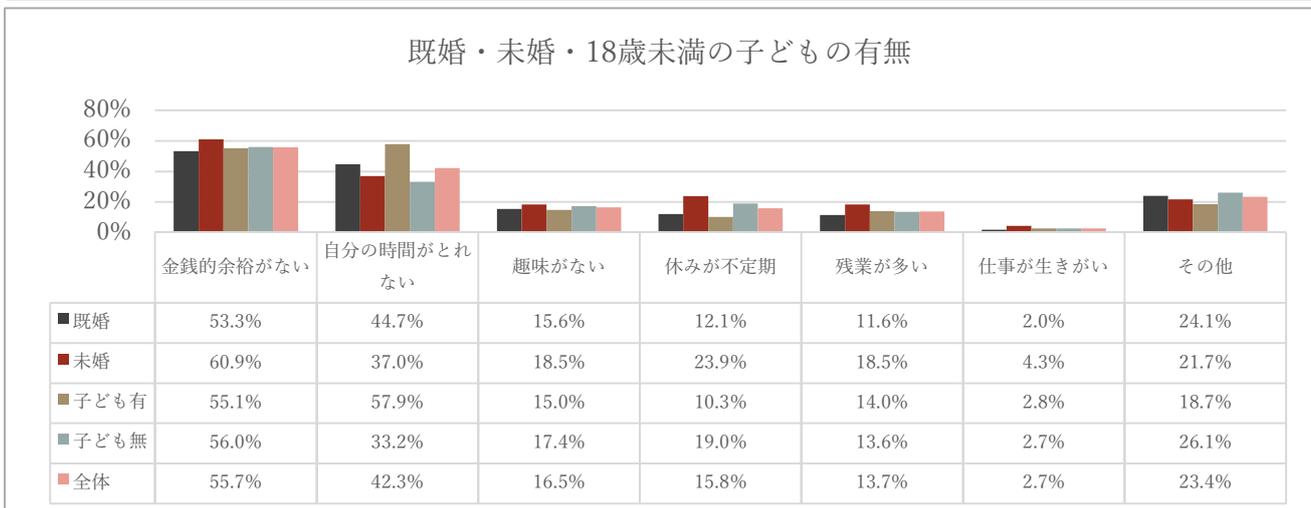
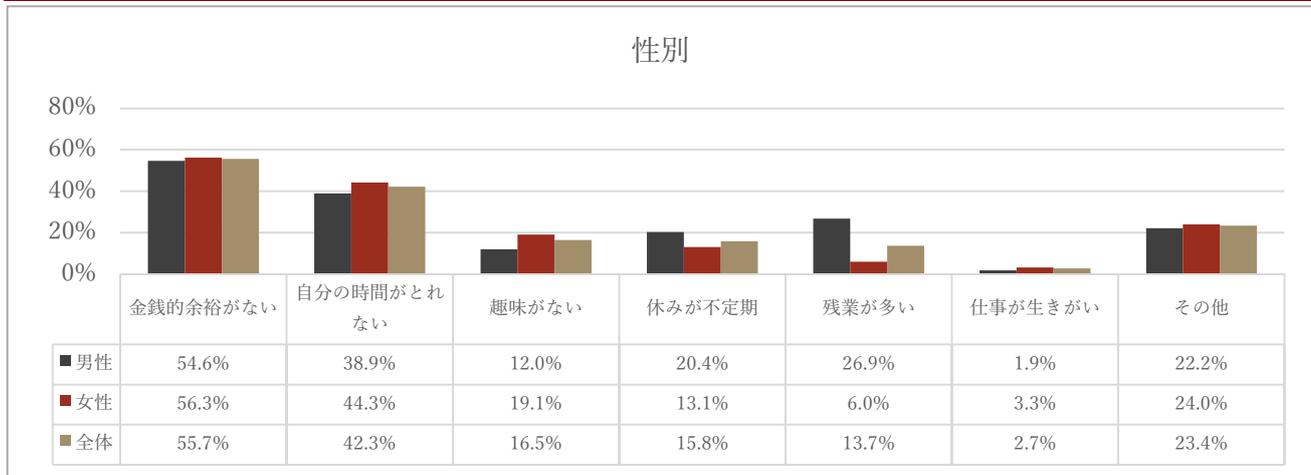
男性は「仕事の段取りを工夫している」が多く、女性は「自分の趣味の時間をとっている」が多い結果となりました。男性は「有給休暇の取得」という回答も目立ちました。未婚や18歳未満の子どもがいない方は「自分の趣味の時間をとっている」、既婚・18歳未満の子どもがいる方は「家族との時間を積極的に確保している」の回答比率が高い結果となりました。

県別にみると、愛知・三重の方に比べ岐阜の方は家族との時間を重視しているようです。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 中広 メディア戦略室 広報課(岡本)  
 TEL.080-6978-2574 Mail : koho@chuco.co.jp

## 4. 「いいえ」と答えた方は、その理由を教えてください



「ワーク・ライフ・バランス」が実現できない理由としては、一番に「金銭的余裕がない」が挙げられました。男性は「残業が多い」ことも要因の一つのようです。子どもがいる方は「自分の時間がとれない」という回答が目立ちました。

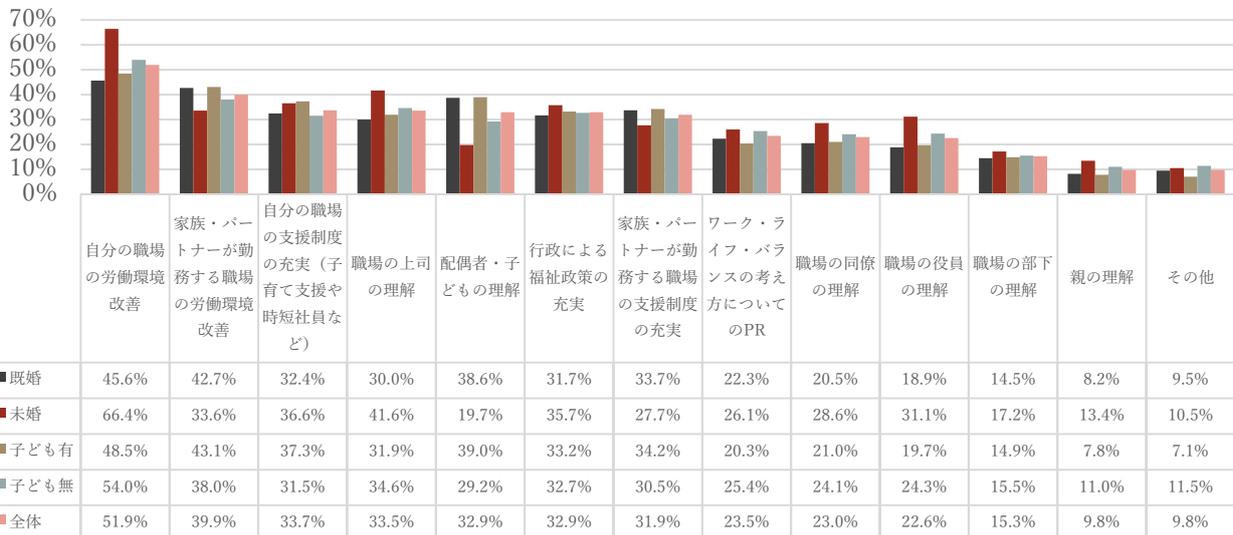
岐阜の方は「金銭的余裕がない」と「自分の時間がとれない」ことが同じ比率でした。岐阜県は共働き世帯が多いことが地域特性として反映されているようです。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 中広 メディア戦略室 広報課(岡本)  
 TEL.080-6978-2574 Mail : koho@chuco.co.jp

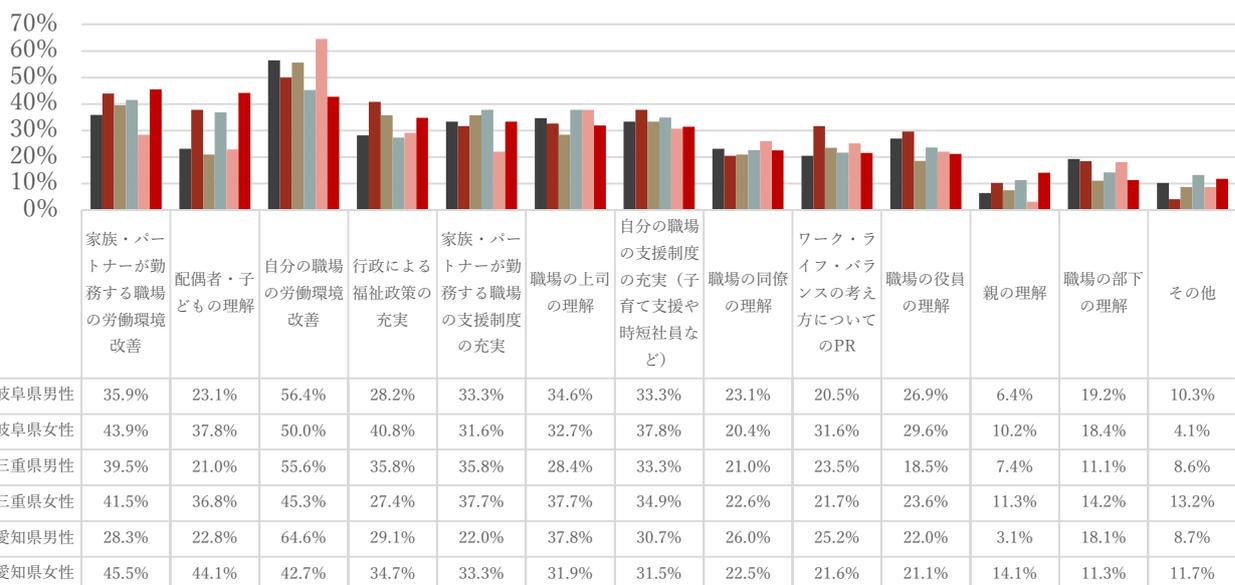
## 5. ワーク・ライフ・バランス実現のために、必要なことは？

既婚・未婚・18歳未満の子どもの有無



「ワーク・ライフ・バランス」を実現するためには、まず「自身の職場の労働環境改善」が必要が半数以上を占めています (51.9%)。特に未婚の方、男性が多く回答しています。さらに、未婚の方は「職場の上司や役員の理解」も必要と回答しており、既婚・18歳未満の子どもがいる方は「配偶者・子どもの理解」も必要との回答が目立ちました。

県別・性別



県別・性別でみると、愛知県男性は「自身の職場の労働環境改善」の比率が一番高くなっており、愛知県女性も「家族・パートナーが勤務する職場の労働環境改善」を一番に挙げています。女性は各県ともに「配偶者・子どもの理解が必要」の回答比率が高くなっています。岐阜県の女性は、「行政による福祉政策の充実」や「ワーク・ライフ・バランスの考え方についてのPR」を求める声も多くありました。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 中広 メディア戦略室 広報課(岡本)  
 TEL.080-6978-2574 Mail : koho@chuco.co.jp

## アンケート概要

### 【調査概要】

調査概要：ワーク・ライフ・バランスに関するアンケート 調査方法：モバイルフリモアンケート

調査時期：2016年6月22日～6月24日 有効回答数：10～70代 男性・女性 818名

回答者属性：既婚・未婚（既婚 566名 未婚 252名）

18歳未満の子どもの有無（子ども有 308名 子ども無 510名）

居住エリア（岐阜県 185名 三重県 197名 愛知 353名 滋賀県 72名 その他 11名）

年齢：	～9歳	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～	合計
男性	0	0	1	3	5	16	52	44	62	59	58	21	11	2	334
女性	0	0	1	14	23	54	89	72	103	67	40	16	3	2	484
合計	0	0	2	17	28	70	141	116	165	126	98	37	14	4	818

### 【共同調査】

岐阜大学地域科学部 教授 三井 栄

専門：計量経済学：景気分析、数理ファイナンス、経済シミュレーション

『中部を創る～20人の英知が未来をデザイン～』中日新聞社(2010)

「岐阜県観光産業におけるリニア中央新幹線東京名古屋間開業への期待

－観光・宿泊施設の意識構造分析－」日本都市学会年報（2014）

### 【中広マーケティングリサーチについて】

「中広マーケティングリサーチ」とは、株式会社中広が運営するモバイルサイト「フリモ®」の会員に対しアンケート調査を実施するアンケート組織です。結果をサービス改善や資料作成に役立てています。

### 【フリモ®について】

「フリモ®」とは株式会社中広が運営する携帯ポータルサイトです。中部圏を中心に発行している各戸配布の生活情報誌と連動し、飲食店、ヘアサロン、整体、スクール、ハウジングなど、様々なジャンルが掲載されています。現在約13県140市町村郡の情報を掲載しており、掲載店舗・掲載エリアを拡大しております。 <http://sp.furimo.jp/>

### 【株式会社 中広について】

株式会社中広は岐阜に本社を置く広告会社です。当社は、北海道・宮城・東京・愛知・岐阜・三重・滋賀・福井・群馬・埼玉・鳥取の1道1都9県下でメディア事業及び広告セールスプロモーション事業を展開しております。

1978年の設立以来、多くの方々に支えられ、2007年セントレックスに上場、2012年に名証2部に上場、2014年に東証2部、2015年12月には東証1部、名証1部に上場致しました。

メディア事業においては、地域に根ざした生活情報を収集・編集して地域みっちゃく生活情報誌®を北海道・宮城・群馬・埼玉・愛知・岐阜・三重・滋賀・福井・鳥取の1道9県で63誌375万部を発行（VC含め109誌628万部）無料で各家庭に配布しております。また、イベントセミナー事業（講演会・研修会・イベント）・クロスメディア事業（フリモ・通販・PR）を実施しております。

広告SP事業においては広告戦略・広告計画・販売促進計画を立案する総合広告会社として、スポンサーの要望に応える媒体選択、デザイン提案、販売促進策の企画運営を行っております。

株式会社 中広

本社：岐阜県岐阜市東興町27番地

創業：昭和53年5月1日

代表取締役社長：後藤一俊

TEL：058-247-2511（代）

資本金：4億430万円

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 中広 メディア戦略室 広報課(岡本)

TEL.080-6978-2574 Mail: koho@chuco.co.jp